

令和7年2月26日	
所 属	学びの多様化学校設置準備担当
所属長	石井 郁樹
電 話	06-4950-5252

【令和8年4月開校予定】

“学びの多様化学校”の校名案を『^{ことは}尼崎琴葉中学校』に決定しました

尼崎市は、このたび、令和8年4月開校予定、兵庫県下の公立では初となる学校型^(※)の“学びの多様化学校”の校名案を1案に決定しましたので、お知らせいたします。

(※学校型……学校として独立している形態のもの)

1 校名案

『尼崎市立 ^{ことは}尼崎琴葉 中学校』

2 校名案の主な決定理由

下記3の選定ステップを経て、公募時の応募者の原案の中から1案を決定

▼ 「琴」の字

学びの多様化学校を設置する地に「琴浦城」とも呼ばれた尼崎城があったことや、近隣にある夜間中学校の「成良中学校琴城分校」と、定時制の「琴ノ浦高等学校」との連携を予定している中、それらの学校名に共通して用いられている字となっており、尼崎の土地・地域や多様な学びの場との一体感・つながりを感じることができる。

▼ 「葉」の字

空に向かって生徒がのびのびと成長や個性を発揮していくようなイメージや、葉には様々なかたち・色合いそれぞれの良さがあり、葉と生徒を重ね合わせることができる。

3 校名案の選定ステップの概要

▼ 令和6年10月

多様なアイデアを得るため、校名案の公募を実施（応募者：132人）

▼ 令和6年11月

有識者からの意見を参考に、教育委員会において30案に絞り込み

▼ 令和6年12月～令和7年1月

子ども・若者や関係先に対して、アンケートを実施

▼ 令和7年1月～令和7年2月

アンケートその他の検討材料を基に、教育委員会において9案、3案と順に絞り込み

▼ 令和7年2月

総合教育会議において市長と教育委員会とが協議を行い、最終的に1案に決定

4 備考

校名は、令和7年度最初の市議会定例会における条例改正の議決を経て、正式に決定予定です。

以 上

【参考情報】

文部科学大臣に指定された学校においては、不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施することができ、このような教育を行える学校が“学びの多様化学校”と呼ばれています。（尼崎市における学びの多様化学校の方向性は、別紙をご参照ください。）

尼崎市における学びの多様化学校の方向性（現在の検討状況等の概要）

公教育を多様性のあるものにしていくため、通常の学校に通うことが困難となっている子どもの状況に応じた柔軟なカリキュラムの編成が可能な学びの多様化学校の設置に向け、基本方針に基づき、こどもセンタードの視点に立って準備を進めています。

① 教育課程について

【編成の方向性】

【心理的安全性】
セキアベース
を核とし

【自主性】
セルフマネジメント

【創造性】
ライフデザイン

【社会性】
ソーシャルスキル
を育む

●生徒の健康面や市内全域からの通学を踏まえて登校時間は遅め、下校時間は早めとなるよう時間割を設定

標準の授業時数
※中学校の場合
→年1,015時間

標準の授業時間
※中学校の場合
→1コマ50分

2～3割
削減

5分
短縮

【学びの多様化学校】
ゆとりと特色ある学びの実現を図る

●9教科全ての枠組みを残しつつ内容を整理して、それぞれの授業時数を削減

●特色ある学びの実現に向けて道徳を総合に統合するとともに、9教科で削減した授業時数の一部を総合に加え、総合を拡充

【学校教育法施行規則に規定されている中学校の標準の授業時数（「標準」欄）】と
【文部科学大臣への申請を予定している学びの多様化学校の授業時数（「申請」欄）】

区分		第1学年		第2学年		第3学年		合計	
		標準	申請	標準	申請	標準	申請	標準	申請
各教科（9教科）の授業時数	国語	140	105	140	105	105	70	385	280
	社会	105	70	105	70	140	105	350	245
	数学	140	105	105	70	140	105	385	280
	理科	105	70	140	105	140	105	385	280
	音楽	45	17.5	35	17.5	35	17.5	115	52.5
	美術	45	17.5	35	17.5	35	17.5	115	52.5
	保健体育	105	52.5	105	52.5	105	52.5	315	157.5
	技術・家庭	70	17.5	70	17.5	35	17.5	175	52.5
	外国語	140	105	140	105	140	105	420	315
特別の教科である道徳（道徳）の授業時数		35	0	35	0	35	0	105	0
総合的な学習の時間（総合）の授業時数		50	175	70	175	70	140	190	490
特別活動の授業時数		35	35	35	35	35	35	105	105
総授業時数		1,015	770	1,015	770	1,015	770	3,045	2,310

※学びの多様化学校の教育課程については、令和7年度に文部科学省の審査を受ける予定となっており、当該審査（文部科学省との調整）を経て、授業時数は変更となる場合があります。

尼崎市における学びの多様化学校の方向性（現在の検討状況等の概要）

② 校名について

●最終選定

総合教育会議（市長と教育委員会とが協議を行う場）において校名案を1案に決定



●今後

令和7年度最初の市議会定例会に条例改正議案を提案予定

アイデアを
1か月公募
→132人応募

有識者から
の意見参考
→30種類選定

年代区分	市内 在住	市外 在住	計
小・中学生	8人	5人	13人
10代～20代	16人	6人	22人
30代～40代	30人	15人	45人
50代～60代	35人	10人	45人
70代～80代	6人	1人	7人
計	95人	37人	132人

10代～20代の10代は小・中学生を除く

校名案の検討候補（3種類）

尼崎琴葉 (あまがさきことは)	橙城 (とうじょう)	共咲 (ともさき)
--------------------	------------	-----------

様々な検討材料を基に教育委員会で協議
→3種類に絞り込み

校名案の検討候補（9種類）

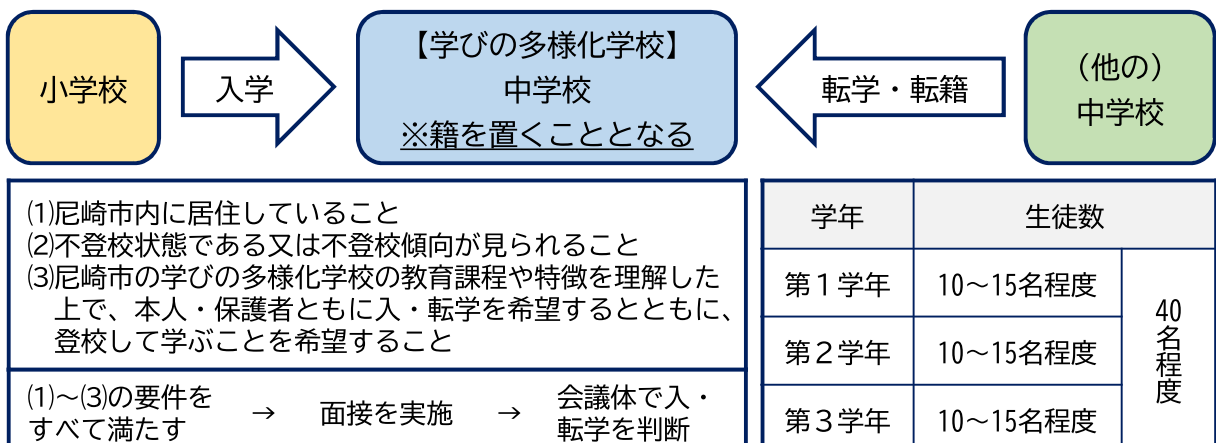
尼崎 (あまがさき)	創逢 (そうあい)	翡翠 (ひすい)
尼崎琴葉 (あまがさきことは)	橙城 (とうじょう)	日向 (ひなた)
桜梅 (おうばい)	共咲 (ともさき)	宝城 (ほうじょう)

子ども・若者と関係先の視点を取り入れ
→9種類に絞り込み

校名案の検討候補（30種類）

尼崎 (あまがさき)	空風 (そらかぜ)	花みずき (はなみずき)
尼崎琴葉 (あまがさきことは)	橙城 (とうじょう)	花水木 (はなみずき)
尼咲 (あまさき)	共咲 (ともさき)	花瑞 (はなみずき)
尼学 (あまなび)	なないろ	翡翠 (ひすい)
桜梅 (おうばい)	にじいろ	ひと咲き (ひとさき)
琴桜 (きんおう)	虹ノ崎 (にじのさき)	日向 (ひなた)
咲くや (さくや)	はな咲き (はなさき)	宝城 (ほうじょう)
城ヶ咲 (じょうがさき)	花咲 (はなさき)	星合 (ほしあい)
城ノ咲 (しろのさき)	花畠 (はなはた)	星空 (ほしぞら)
創逢 (そうあい)	はなみずき	美咲 (みさき)

③ 入・転学について



尼崎市における学びの多様化学校の方向性（現在の検討状況等の概要）

④ 学校施設について

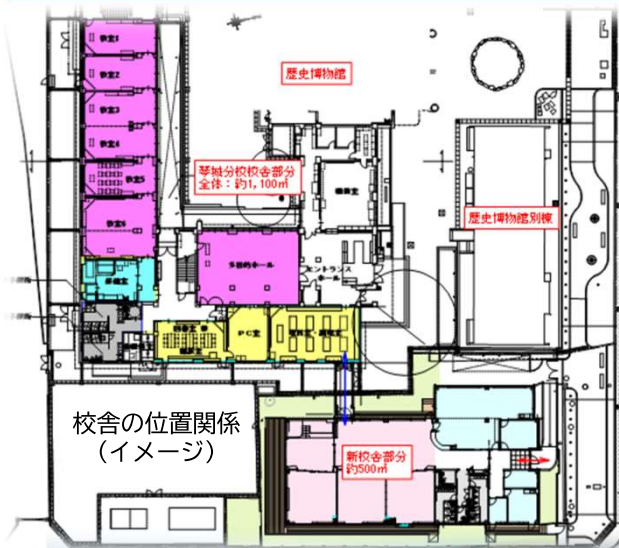
●校舎

成良中学校琴城分校の旧校舎跡地に新築する平屋施設（約 500 ㎡：設計中）と、同分校の現校舎を渡り廊下でつなぎ、両校舎を併用する予定



●運動場・体育館

琴ノ浦高等学校の運動場・体育館を利用する予定



新校舎：新築する平屋施設（イメージ）

⑤ 通学方法について

●学びの多様化学校における原則として

生徒の安全面を踏まえ、徒歩又は公共交通機関の利用による通学



●「学校へ行きたい」という思いをもったときに通いやすい環境を整えるため

生徒や居住地の状況を踏まえ、保護者による安全管理のもとに自転車による通学も可



⑥ 学校給食について

学校給食は、決められた時間に決められたものを食べる必要がある等の性質がある中、不登校生徒を対象とした学びの多様化学校においては、行動・自由の制限や拘束性は低減させた方がよいとの考えのもとに



生徒個々のニーズや状況に応じて昼食がとれるような環境づくりを目指していく

（家庭からの持参や購入の仕方を考えたり、食べる時間や場所を柔軟に対応したりできるよう検討）
（学校給食法に基づく学校給食は実施しない予定）

